

土木って、カッコイイ！

おーい！ みんな元気かー

朝、君が起きだしてくる。
まず、顔をあらうだろう。
洗面所（せんめんじょ）のじゃ口をひねると、
そくざに勢いよく水が出る。

ちょっと待てよ。
この水は、どこから来るのだろう？
自然に流れてくるのか？
そんなうまい話は、ないだろう。

だれかが送ってくれているに、ちがいない。
最近、水道の水が大変おいしくなったねえ。
だれが、このおいしい水を作っているのだろう？
大昔の人は、だれもが山から水を引いて飲んでいた。
平地の人は、井戸を掘って、その水で生活をしていた。

しかし、今はどこにでも水道がある。
大きな川から水を取り、何日もかけて不純物（ふじゅんぶつ）を
取り除き、殺菌（さっきん）して配水管に送り出し、君の家にも
水がとどくんだ。 それには大きな設備が必要だね。

さー、しっかりと朝ごはんを食べよう。
君の家では、ごはんかな、パンかな？
あれ？ トースターの電気は、どこから来るの？
炊飯器（すいはんき）の電気は、だれが送ってくれるのだろう？
テレビだって、パソコンだって、みんな電気が必要だよな。

どこで、電気を作っているのかな？
山おくのダムに水をたくさん貯めて、滝（たき）のように流し落とすんだ。
その水の力で、大きな羽根（はね）の付いたタービンを回して電気を起こす。
石油や天然ガスを燃やしてできる蒸気の圧力で、
タービンを回して発電する。
また、原子力の蒸気でだって、発電するんだよ。

トイレのあとに流した水は、どこへ行くの？

キッチンでお皿を洗った水は？、

下水管に流れ込んで、どこかへ消えて無くなっちゃうのかな？

きれいな水にして川に流すのは、だれがやってくれるのだろう？

よごれた水は、各家庭の下水管から集められて、
処理場（しゅりじょう）にたどりつく。

そこで、いろいろな技術を使ってきれいな水にする。

それから、川に流す。

みんなの生活に必要な水や電気をつくる仕事をするのが、
土木技術者なんだ。

君は、夏休みに、おじいちゃんやおばあちゃんが待っている田舎へ
帰るだろう。お父さんのマイカーは、家を出て間もなく高速道路に
入り、そのあと明石海峡大橋をわたって行くよね。

それから、去年の春休みには、お母さんの古里に行ったね。
あの時は新幹線に乗ったね。たしか、トンネルを出るとまたトンネルで、
おどろいただろう。

来年のお正月には、家族全員でハワイ旅行だって？ そしたら、飛行機だ。
関西国際空港から飛び立つんだねえ。

こうして、もっともって便利になるように道路や橋やトンネルや空港をつ
くって、いつまでも使えるように守っていくのも、土木技術者の仕事なんだ。

日本は台風の国だ。台風は、毎年必ずやってくる。
ひどい大雨が続くと、ときには堤防がくずれて街中が水つかりになることが
ある。こんなことが二度と起こらないために、川がスムーズに流れるよう
に改修したり、堤防を強化したりする。

長い海岸線を、高波から守ってやらなくてはならない。
また、港が安全で便利のように改修するのも、土木技術者の大きな役目
なんだ。

ね！ 土木技術者の仕事って、大きくて、大切に、すごいだろう。
そんな大事な仕事をしてみたい！
君は、きっとそう思うだろう。

「注」以上が、まえがきです。ここでは、上水・発電・下水・道路・橋梁・鉄道・トンネル・空港・河川・港湾などに触れました。

「橋梁編」を皮切りに、一編ずつ物語を書いていきたいと思います。

「人材の誘起・育成」チームの金山正吾と藤田昭治が文と挿絵を担当し、藤澤さんにはホームページに編集してもらうようにお願いしています。

第一編の「橋のはなし」がホームページに仕上がれば、日本全国の小学校に観てもらうようにPRしなくてはなりません。各自治体の教育委員会に話をして、所管の小学校の「メールアドレス」を教えてください、メールで「ホームページの紹介」PRをします。

今年中にそのへんまで進めたい、と思っています。